



1学期もあとわずか。終業式まで、元気に「学び」と向き合いましょう。 『夏休み』は、もう すぐそこまで近づいているよ！

運動会が終わった時、「夏休み突入まで、何も行事のない日々は長く感じるだろうなあ。」と思っていましたが、7月に入りあっという間に学期末が迫ってきました。（明日以降、学校に来る日は残り6日間です。）

雨が降り続く日もあれば、湿気をともなう猛暑の日もあり、生活環境的にはとても厳しいはずですが、子どもたちは日々“自分がやるべきこと”に真剣に向き合い、少しでも自分の力を伸ばすことができるように頑張っています。今日まで、大きなトラブルが起きることなく『落ち着いた学校生活』を続けてくることができています。

今まさに、1学期間の総まとめの時期を迎えています。これまで積み重ねてきたことが何らかの形（成果）となって、どの子にも返ってあげたいなあと思っています。また、ここで気を緩めることなく1学期最終日まで「自分を高める努力」を続けてほしいと思っています。頑張れ～児小っ子！

3年：保護司の方々による「読み語り」[6/25火・27木・28金]

昨年度に続き、3年生を対象とした“児島地区の保護司の方々”による「紙芝居形式の読み語り」が行われました。クラスに割り振られた日の朝学習の時間帯に、4～5名の保護司さんが来てくださり、『素直な心の大切さ』を説いた内容のお話をしてくださいました。今年も、子どもたちは目を輝かせながら聞き入っていました。

写真

4年：社会科見学（清掃工場・下水処理場・味野公園）[6/27木]

社会科の学習内容を“現地で実際に様子を見たり”“働いている方々から直接説明を受けたり”することで、より深い理解につなげることをねらいとして社会科見学を行っています。（VTRなどの映像資料を活用する場合もありますが、やはり“百聞は一見にしかず”で、現地でしか感じることのできない習得感があります！）

工場の中の機械の動きや匂い等を体感するとともに、しっかりと説明を聞いて学習することができていました。水島地区での見学後には、味野公園に立ち寄り、おいしいお弁当をいただいてから帰校しました。

写真

低学年が育てている「アサガオ」や「ミニトマト」がこんなに大きくなりました！



玄関の金魚たち
（金太郎・金次郎・金三郎・金四郎）も大きく育っています。
*名前が分らないので、勝手に命名。

写真

☆動植物の成長に負けないうらい「児小っ子」の体も心も成長していますよ～！

★『学力向上コーナー』・・・校内研究：6－3研究授業 [6/26水]

本年度、児島小学校では、『主体的な学びを通して、できた！分かった！を実感する児童の育成』という研究主題のもと、算数科の授業研究に取り組んでおります。一昨年は人権教育の研究、昨年は情報教育の研究を行っており、久しぶりの「教科指導」の校内研究となっております。算数科を選択したのは、本校児童が他の主要教科(国語・理科・社会など)に比べて算数科の理解度・定着度が低いからです。

ここ数年、生活面・生徒指導面における「落ち着き具合」はずいぶん向上しており、コロナ禍以降の学校行事・教育活動の適正な復活に向けての準備も整いつつあります。学校運営上の多くの面でより良い方向に向かって進んでいますが、全体的な好変容に反比例して、学力面のみがやや下降傾向にあります。子どもたちの明るい未来を支えるために、今身に付けておかねばならない要素はいくつもあります。『学力』はその中でも上位に位置づけられるものだと考えております。

そこで、子どもたちが一番苦手と感じている算数科を重点教科と捉えて、数年がかりでの学力向上策を進めていこうと思っております。県教委による『岡山型学習指導のスタンダード』に準じて、教員の指導技能を高めるために、校内での自主的な研修はもちろん、外部から講師を招いての授業改善検討会なども複数回実施していく予定です。他にも、「朝学習」のメニューや取り組み方を見直したり、タブレットを活用した反復学習による基礎基本の定着を図ったり、授業内容に沿った家庭学習を可能な範囲で徹底したりと、様々な角度から学力向上に向けた取組を実施しております。

今回は、先頭バッターとして、本校研究主任の渡辺翔帆教諭が研究授業(全員での協議の題材となる授業)を行いました。外部講師としてノートルダム清心女子大学の杉能道明准教授に来校いただき、ご指導・ご助言を賜りました。あまり分かりやすくはないかもしれませんが、校内研究の様子をご紹介しますと思います。

「分かる・できる喜び」「考える楽しさ」が実感できる授業を行うための、指導の基礎・基本・・・『授業5(ファイブ)』

①めあてを示す。⇒ ②自分で考え表現する時間を確保する。(自力解決の場合)⇒ ③目標の達成度を確認する。⇒ ④学習内容をまとめる。⇒ ⑤授業の振り返りをする。

(今回の6年・算数科授業)

単元・・・『割合の表し方を調べよう』

目標・・・全体の量を比例配分する方法を考え、説明することができる。

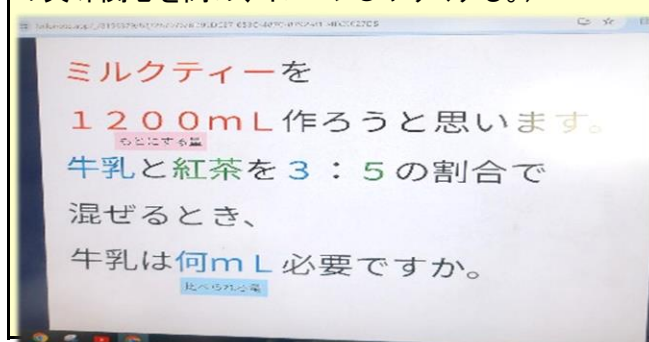
・前時までの学習内容を想起させる。(直近の内容を振り返ったり復習したりすることで、「今、何についての学習をしているのか」の意識づけを強める。)

写真



↑ 壁面には、前時までの学習内容の掲示物

・本時の問題を示す。(身近な題材にすることで、児童の興味関心を高め、イメージしやすくする。)



②自力解決の場合。

タブレットで送られている「ヒント」などを使って、自分で問題を解いてみる。

写真

←「ヒント」には、3段階のレベルがあり、自分で選択して活用できる。

①めあてを示す。

「比を使って、全体の量から部分を求める方法を考えよう。」

・前時の内容との「違い」に着目させ、本時の学習についての『予測や見通し』をもたせる。

④学習内容をまとめる。

「部分の量は、全体の量を1として(部分が何倍になっているか)みたり、部分と全体の等しい比をつくったりすれば求めることができる。」



←学習の流れが分かる板書

③目標の達成度を確認する。

グループ内で、自分の考え方の意見交換をしたり、全体で話し合ったりして、課題の解決方法についての理解を深める。

※牛乳：紅茶の比が3：5なら、全体は8(1200ml)になる！

解決方法①・・・等しい比の考え方を使う

$$3:8 = \square : 1200 \quad \square = 450$$

解決方法②・・・比の値(一方が全体の何倍になっているか)を使う

$$1200 \times 3/8 = 450$$

写真

・適用問題(練習問題)に取り組む。

⑤授業の振り返りをする。

各自が、本時の学習で身に付けたことを文章にまとめ、自身の学びを自覚する。